



永島 友悟

パートナー

(直通) 202.292.4162 | ynagashima@fbtlaw.com

20 F Street NW
Suite 850
Washington, D.C. 20001

専門業界分野

ハイテク産業

- ・ プライバシー・データセキュリティ
- ・ コンピューター・ソフトウェア開発
- ・ ブロックチェーン

金融サービス

ヘルスケア・イノベーション

- ・ 医療技術

モビリティと運輸産業

- ・ 自動車

専門実務

知的財産法

- ・ 知的財産訴訟
- ・ 技術・知財契約業務
- ・ ブロックチェーン技術
- ・ SNS、インターネット及び電子商取引
- ・ 商標権

民事・商事訴訟

使用言語

英語

日本語

中国語（北京語）

学歴

永島弁護士は、日米の知的財産法務、特に、ハイテク企業及びメーカーを代理した知的財産侵害訴訟の対応を専門としています。彼は、米国連邦地方裁判所および米国国際貿易委員会（「ITC」）での経験を活かし、多様な米国の法律アドバイスを求める日本企業と米国子会社を日々支援しています。

永島弁護士はデータ・サービスチームのメンバーであり、主に越境データ移転、GDPR コンプライアンス、米国連邦個人情報規制、および国内および海外のクライアントの CCPA/CPRA コンプライアンスの問題に関連する国際および国内のデータプライバシーの問題を取り扱っています。

また、永島弁護士は、日本の弁護士として東京地方裁判所および東京高等裁判所において、クライアントの訴訟代理人としての業務に従事していました。その際には、主にハイテク企業の代理人として特許・商標権のライセンス契約から日米等国際的な合併や買収等の業務を担当していました。

実務経験

知的財産法実務

永島弁護士は、知的財産訴訟、米国特許商標庁の特許審判委員会での訴訟、知的財産法関連の国際仲裁、および特許収益化戦略について、さま

慶應義塾大学大学院法務研究科
修了（法務博士号）

カリフォルニア大学バークレー
校ロースクール 修了（修士号）

ジョージタウン大学外交学部
卒業（理学士号）

さまざまな業界の企業の代理人を務めた豊富な経験があります。特に、特許侵害訴訟において相手方の訴訟の取り下げを勝ち取ることに貢献し、ライセンス交渉においても、彼は有利な和解を可能としたグローバルな知的財産戦略を企業に助言しました。

国内および国際的資格・評価

国際プライバシー専門家協会 CIPP/US 認定

国際プライバシー専門家協会 CIPP/E 認定

国際プライバシー専門家協会 CIPM 認定

クラークシップ

アメリカ合衆国第3巡回区控訴裁判所 ケント・A・ジョーダン判事

弁護士登録

日本

ニューヨーク州

コロンビア特別区

登録裁判所

アメリカ合衆国第3巡回区控訴裁判所

アメリカ合衆国コロンビア特別区連邦地方裁判所

弁護士会等所属団体

第一東京弁護士会（62期）

セドナ会議（The Sedona Conference）

国際プライバシー専門家協会ダイバーシティ・セクション

(International Association of Privacy Professionals, Diversity in Privacy Section)

プライバシー・ルール (PrivacyRules)

KnowledgeNet ワシントン D.C.チャプター

講演・セミナー

日本貿易振興機構 (ジェトロ) ニューヨーク知財情報交換グループ

2018年6月1日セミナー「訴訟の観点から考える米国特許法第101条主張の影響」

日本貿易振興機構 (ジェトロ) ニューヨーク知財情報交換グループ

2021年4月15日セミナー「日本企業に特化した最適なグローバル知的財産投資収益プログラムの立ち上げと強化について」

PrivacyRules 主催、M&A、ゲーム業界および越境データ移転におけるプライバシーコンプライアンスに関する 3 Days グローバル会議の 2021年12月8日セッション「ゲーム業界に必要なプライバシー保護コンプライアンス」に登壇

日本貿易振興機構 (ジェトロ) ニューヨーク知財情報交換グループ

2021年12月21日セミナー「2021年米国知財訴訟の概況」講演者

日本貿易振興機構 (ジェトロ) ニューヨーク知財情報交換グループ

2022年1月20日セミナー「米国におけるブランド保護：商標権のエンフォースメント戦略・模倣品による生じる責任の軽減戦略」モデレーター・通訳

PrivSec Global 主催、2022年2月15日グローバル会議「カリフォルニアプライバシー権利法 (CPRA): 準備すべきこと」に登壇

記事・出版物

永島友悟「秘匿売買（secret sale）による新規性の喪失：米国特許法における on-sale bar の扱いの考察」『Journal of the Japanese Group A.I.P.P.I.』、日本国際知的財産保護協会、2019年8月、64巻8号

永島友悟、Michael E. Nitardy（共著）、「What are We Giving Up Behind the Wheel of an Autonomous Vehicle,」ブルームバーグ・ロー、2021年12月発行

永島友悟、結城大輔（共著）、「今更聞けない、米国特許侵害訴訟の基本：事例解説 米国ディスカバリ制度、秘匿特権、ワークプロダクト」、知財管理、2022年、72巻4号

永島友悟、「Connected Vehicles & Automatic Decision-Making,」ブルームバーグ・ロー、2022年3月発行